

学校保健

No.165

(財)日本学校保健会

- 座談会—学校保健委員会の活動と今後の課題…… 2
- 昭和61年度の叙勲と表彰者…………… 6
- 全国学校保健研究大会… 8
- 全国学校保健協議大会…10

~~~~~  
会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 年頭所感

## たくましく生きる児童生徒の育成

(財)日本学校保健会 会長 東 俊 郎

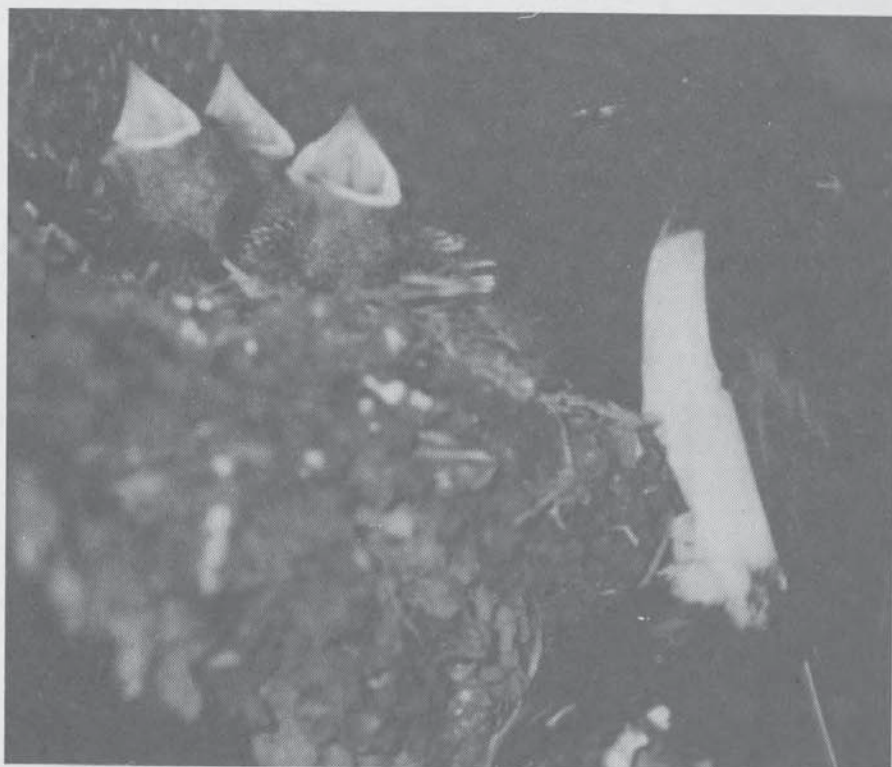
新しい年を迎え、我が国の学校保健のよりいっそうの充実発展をめざして、本年もまたみなさんと手を携えて進みたいと思います。

21世紀を担う青少年を、心身ともに健全に育成することは、私たちに課せられた、大きな使命であります。このために、すでに申し上げておりますように、子どもが育っている現況をしっかりと見定め、それにみあった新しい学校保健活動の推進が望まれるものと思います。

本会では、去る10月、栃木県で開催されました全国学校保健研究大会の折に、栃木県連合学校保健会と共催で、全国学校保健協議大会を開催しました。そこで、全国9ブロックのうち7ブロックから提出されました「幼児児童生徒等の健康診断の充実強化の対策」を中心協議題として討議し、学校保健の基盤についての相互理解をはかるとともに、問題解決のための具体的な課題について協議を進めました。

また、臨教審第3部会長の有田一壽先生をお迎えして、学校保健の今後について意見の交換をするなど、たくましく生きる児童生徒の育成をめざして努力を続けているところでございます。

昭和62年も、学校保健に携わるみなさま方の倍旧のご協力をお願いいたしますとともに、みなさまがますますご健勝で、和の精神をもって総意を結集し、ご活躍されますことを祈って、年頭のごあいさつといたします。



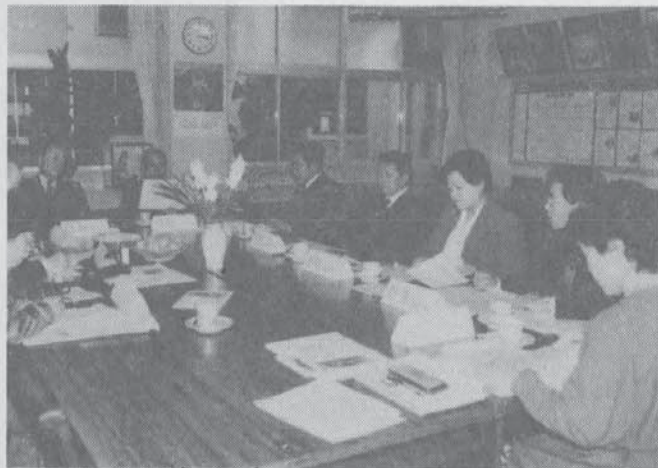
“めぐろの動物ガイド”より転載



# 新 春 座 談 会

## 学校保健委員会の活動と今後の課題

—— 埼玉県川口市立並木小学校 ——



|      |           |       |
|------|-----------|-------|
| 出席者  | 小学校 校 長   | 栗原喜一郎 |
|      | 保健主事      | 瀧澤 重博 |
|      | 養護教諭      | 加藤恵美子 |
|      | 学校医       | 佐藤 泰三 |
|      | 学校薬剤師     | 佐伯 弘  |
|      | PTA 副 会 長 | 大家 進  |
|      | 保健部長      | 重岡知江美 |
| (司会) | 会報編集委員長   | 杉浦 稔  |
|      | 同 委 員     | 宮澤 康造 |

座談会を催していただいた川口市立並木小学校は、昭和60年度全日本健康優良学校の全国特別優秀校（大規模校）に輝いた学校である。東京の都心から20軒圏にあるベッタウンで、京浜東北線の西川口駅ができた昭和29年開校の比較的新しい学校である。

昭和61年10月22日には全日本健康教育発表大会の会場となり、その実践状況を公開し、全国から440名の関係者が参観した。

校門を入ってすぐの校庭には、150米トラックがあり、その周囲にはジャンボブリッジ、くものす城、ロープウェイ、タイヤなど数かずの手づくりの遊具や設備がある。これらの遊具や道具は赤や青、黄色とペンキできれいに色どられている。夏休みの暑いとき、教師・児童・PTAも一緒になって仕上げたという。

それら遊具の上には“たかくはばたけ”というスローガンや“めあてにむかって仲よく挑戦”などの字が掲げられ、全校一丸となつての健康づくり、体力づくりの様子がうかがわれた。

### ❖ 保健委員会の現状

**司会** 校長先生から学校保健委員会の“ねらい”についてお聞かせ下さい。

**栗原** 学校保健活動については特別活動の学級指導を中心に全教育活動を通じてそれぞれ仕事を進めています。

ますが、大きく健康科学という観点から、学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方から専門的アドバイスを受けて、教職員、父母、児童の代表が集り、全校の学校保健の基本線をきめていくことが重要だと思います。

とくに川口市は学校保健につ



栗原喜一郎先生

いて熱心な市です。それは学校保健委員会の発祥の地が川口である、といわれているからです。昭和20年代の中頃に川口市青木中学校の押田勤校長が、全国の関係者に学校保健委員会の実際を公開したと聞いています。本校だけに限らず

川口市全体が熱心なところなのです。

本校は開校以来、保健と安全を重点的に進め、つづけて体力づくり、さらに、心の健康も加えて着実に成果をあげてきたと思います。

**司会** 地域ぐるみで熱心なわけですね。

**栗原** 父母はもちろん、PTA、OBの方がたも大へん熱心に応援してくれます。

**司会** 委員会の組織や、その運営について簡単に紹介して下さい。

**瀧澤** 資料(表1)のような組織になっています。運営については、年度当初に小委員会で年間の目標づくり、前年度の評価などから年間計画を作ります。おおむね1学期1回の開催ですが、委員会の2～3週間前に小委員会で事前に資料をそろえて進行の準備をします。児童からも積極的な提言があり活発です。

**重岡** PTAでは、学校保健委員会で話し合った結果を「学校保健だより」で全員に報告します。PTA





**重岡知江美さん** 理事会でもこの結果について話し合い、意見を具申することもあります。またPTA懇談会で情報交換をしています。先日の全国発表大会でのテーマ“正しい姿勢づくり”については、両親学級でとくに父親に関心を深めさせたことは良かったと思います。

**司会** 具体的内容についていかがでしょうか。

**加藤** 過去3年のテーマは資料(表2)のようになっています。そして委員会の都度、前回の協議テーマの経過報告と、その反省と評価も行っています。とくに心の健康づくりについては毎月第3日曜日を“家庭の日”とって親子の心のふれ合いを深めるとい日を設定しています。また、交通の激しい市街地にある学校なので交通安全教育にも力を注いでいます。

**司会** 学校医の立場から、いままでのことについて総括的なお話をお願いします。

**佐藤** 私は33年間校医をやっています。当初学校の周囲は田んぼだったのが、次第に都市化の波に飲まれ、駅周辺の環境問題、また交通の複雑さなど大へんな変化でした。その中にある学校の保健は、下校後の管理を含めて、学校と家庭と地域、それも医

師会などの専門団体が三者一体となって進めていくことが基本だと思います。

人生の中の小学校の6年間は体が一番丈夫なときです。鉄は熱いうちに打て、というように、このときはどんなに鍛えても鍛えすぎはないと確信しています。私は校長先生はじめ先生方にそうお願いしています。父母がそのことでグチをいうようなことがあれば、私のほうで説明することになっています。

そういう姿勢からかもしれませんが、この小学校、そして隣の中学校ともに1件の非行もありません。ですからお母さんたちも熱心に保健体育活動に協力してくれています。ですからケガをしてきても“なんだ、こればっちのことか、もっとやってこい”というと父母も笑っています。

なんといっても学校長中心の教育が大切で、それを支えるのがPTAであり、私たちだと思っています。

**司会** 大家さんお母さんたちから問題がでたことはありませんか。

**大家** 私は59年度からいまの仕事を引き受けています。が、私たちは先生方がやりやすいようにすることを主眼と考えお手伝いしています。つけ加えますと、わが子だけでなく、良くないことをしている子を見たときは、必らず声をかけて注意することをPTAで提唱しています。とくに保健部に入ったお母さん



佐藤 泰三先生

表1 組織と運営

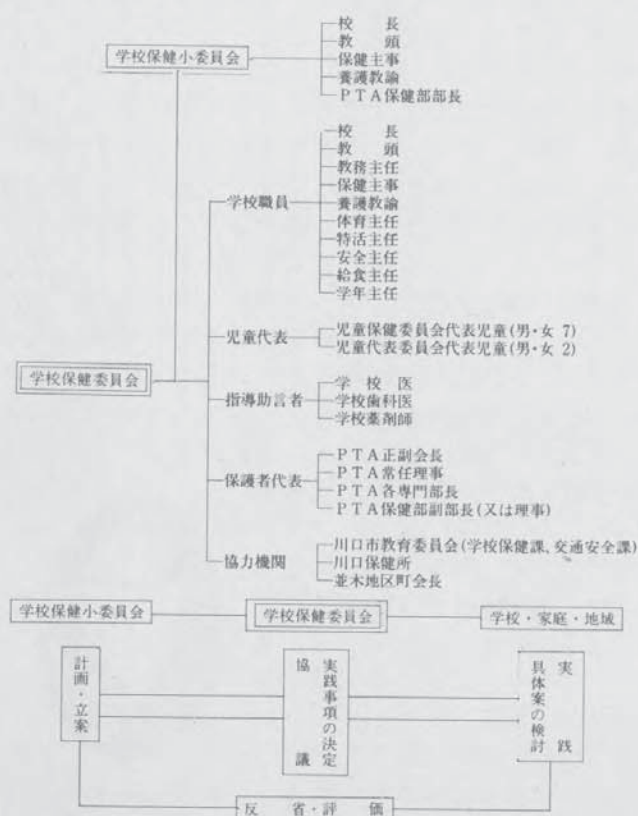


表2 過去3年間の協議テーマ

#### 昭和59年度

- 6 月 (1) むし歯予防の推進  
(2) 通学路の安全確保について  
(3) 水飲み場の設置について  
(4) 水泳時の注意
- 11 月 (1) 交通安全(自転車)について  
(2) 家庭の日について
- 3 月 (1) 一年間のまとめ

#### 昭和60年度

- 6 月 (1) 積極的な健康づくり
- 9 月 (1) むし歯予防の徹底をめざして
- 12 月 (1) 目の健康づくり
- 2 月 (1) 心の健康づくり  
—家庭の日—

#### 昭和61年度

- 6 月 (1) 安全な道路歩行の徹底  
(2) 「さわやかあいさつ運動」の推進
- 10 月 (1) 正しい姿勢づくりをめざして
- 2 月 (1) むし歯予防と食生活  
(予定) (2) 健康生活の反省とまとめ





大家 進さん 両親学級を行いますと、半分以上が両親で懇談会まで残っています。

#### ❖ 具体的な保健指導について

司会 保健室へ体の異常を訴えてくる子は少ないですか。

加藤 多少はいますが、2床あるベッドは使ったことがありません。ほとんどちょっとしたすり傷などのケガだけです。

司会 先日の委員会のテーマ“正しい姿勢”ではどんな発言がありましたか。

加藤 P T Aからは家庭での注意や、調査報告があり、児童からは自分自身で気をつけることについてでした。

瀧澤 本校では“高く羽ばたけ”を合言葉に保健に取り組んでいます。ですから児童からは姿勢ペンダントを使おう、とか、休み時間には背伸び運動しようなどの発言があり、また、畳の室で正座すると姿勢が良くなるという意見もでした。最近はこの家も洋式になってきていますので、生活様式が関係しないかという意見でした。

司会 よい姿勢はなぜ大切なのか、という説明はどうされましたか。

栗原 体の問題だけでなく、心の問題について校医さんや薬剤師さんからいいお話がありました。佐伯先生お願いします。

佐伯 大人がなぜ姿勢を正せ、というのに児童が疑問をもつと思い、私はもし正しい姿勢をとっていないと根性まで曲ってしまうんだと話しました。その証拠に、『先生方のように立派な人たちは常に正しい姿勢をしているから正しい心をもっているのだ。ところが夕方街角でお兄さん達が5～6人集って話しているのを見てごらん。片手をポケットにつっこみ肩をすぼめて乱暴なことばで話しているだろう。そうすると自然に心まで曲ってしまうのですよ。』

みんなも賞められるときは胸を張るでしょう。叱られるときは自然と頭が下り、背中が丸くなるでしょう』、と説明しました。

栗原 校医さんたちは身体のことだけでなく心のことを、教師は心のことだけでなく身体のことを考えていく。両方の立場で考える。このことが本校の良いところかもしれません。

司会 学校保健委員会での問題を十分に浸透させる方法についていかがですか。

瀧澤 本校の場合は日常の学級経営の中に学校保健が根づいているので、改めて職員室で話し合うこともありません。具体的にどんなふうに行っているかというと、正しい姿勢のことで授業中の姿勢を児童に気づかれないように一人ひとり写真をとっておき学級指導のとき手渡して問題点を自分自身で正しくするように心がけています。

#### ❖ 今後のとりくみ方について

司会 いままでの学校保健委員会活動で反省すべき点、問題点などがありますか。

瀧澤 学校保健委員会でとりあげた正しい生活習慣をもっと身につけさせようということからいくと、毎回テーマが変わってしまうことにより、継続性に欠けるのではないかと。また、一つのテーマだけにしてしまうと、他の活動がおろそかになる。本校ではその両方を考えて進めてい



くようにしていますが、いま一つ十分といえない感もあります。

重岡 むし歯予防の歯みがきカードを渡していますが、提出率やその他が100%に達していないので、なんとか100%を実現したいと頑張っています。

大家 お母さん達の中には100%にこだわる必要はない、という意見もあります。校長先生から「歯ブラシを食卓に置いて食事をさせたら」という意見もありました。そのお家の事情で採用しているところもあります。

実質的には100に近づいていますが、100という数字はむずかしいですね。

司会 あまり100にこだわると心の問題にかかわりますね。佐伯先生はどうお考えですか。

佐伯 毎回、委員会に出席して感じることは児童の発表ということです。これは大事なことだと思います。優秀校というと、むし歯や近視が少ないということですが、これは結果であって、そこへいくまでの過程が大切なことです。なぜむし歯があってはいけないのか、なぜ給食を残しては悪いか、などと自分で考えること。それにはクラスの代表が自分のクラスを調べて発表する。そして自分たちのクラスが他のクラスと比べていいか、悪いか、みんなで話し合い協力する。そして生活習慣が身につくようになる。こういう空気になったのは単に保健委員会だけの問題ではなく、この



背景には並木っ子体操(全校生徒がマスターしている比較的高度な徒手体操)から始まり、愛校日(児童だけで毎月2回、全職員も参加して年1回の校舎、

佐伯 弘先生



校庭の清掃)にはお母さん達が黙って真剣に窓ガラス拭きをしているのをみて、自然に学校を愛する心が芽生えてきますね。口でいうより愛校心を植えつけるのは、このほうが手っとり早いですね。さっきの家庭の日も、そういう意味でお父さんも協力するし、交通安全日には道路の空缶を拾ったり、自転車を整備したりしていると、放置自転車もなくなり、いわず語らずこども達の心に蓄積されていくものですね。

ただ、それがいい結果をだそうとすると、こども達が自主的に自立してやろうとする方向から遠のいていくと思う。お母さんにいわれたからやるのではなく、お母さん達は知らないふりをして、今後の焦点を方向づけただけするようにすれば、こども達の自覚したものとなると思います。

**加藤** ゴミ0活動というのがありますが、これは特別活動の仕事ですけど、1学期に



加藤恵美子先生

1回放課後の約50分間ですが、地域にでていって学区の清掃をします。これは伝統的に行っている行事ですが、先生方はタッチせず全部児童が持ち場の区域割りをして行います。これなどもよい行事だと思います。

**司会** 佐藤先生、校医の立場からは…。

**佐藤** この実績を維持し、これ以上にするのは校長以下、職員全員を盛り立てていくのが基本だと思います。今後も健康管理の面でのアドバイスをしていくつもりです。

**司会** 健康教育にもっと校医が入っていくべきだ、という意見がありますが。

**佐藤** それも校長先生の姿勢一つです。校長先生の管理能力と経営方針で解決されていくと思います。

校長先生の指導態勢をバックアップするのが地元住民の仕事です。そのことがすべての面のレベルアップにつながると思います。

**司会** 校長先生からも一こと…。

**栗原** 健康教育は充実発展していかねばなりません。これはその量的拡大を意味するものではなく、その内容の質的向上を目指していくのが本校の課題です。それには健康教育の基礎や基本は何なのか、これを学校医の先生方に指導していただきたい、と考えています。

第二点は、多様な保健活動のなかで、従来、身体的なものだったのが、安全の問題、家庭の日を中心とした心の健康のこと、つづいてさわやかあいさつ運動と、学校保健委員会のテーマに取り上げられてきています。これからの委員会は身体的なものに限らず、各教科にわたって知的なものを充実し、また、心の健康を重視していきたいと思います。第三点は、生涯教育へ向けての視点に立って健康教育のあり方を考えています。それには全学習にまで発展していかなければ、と模索しているところです。

**司会** 最後に宮沢先生からお礼のことばとともに何かアドバイスでもありましたら…。

**宮澤** 今日はたいへん良いお話をありがとうございました。校門を入ってすぐこどもたちの生きいきとした感じに心うたれました。そして積極的な素晴らしいスローガンが掲げられているのに感心しました。座談会を通じ、児童・教師・両親・学校全体が一つになっており、しかも、地域とのかゝわりで健康教育の進められていることを知り敬服しました。ひとこと、姿勢に関連して左手で字を書く子はどの位いますか。最近、比較的目につきますが、やはり左手で字を書く子は姿勢が悪くなると思いますので小さい頃から家庭と協力して早く直してあげたほうがいいと思います。

## 並木校の実践に学ぶ

並木小学校の学校保健委員会は、心と体の健康づくりを目指す学校経営に大きく機能しているように思われます。

心と体の健康づくりということになると、どうしても、家庭・地域との密接な連携が必要になってきます。並木校の学校保健委員会のねらいもここにあると思うのです。このことは、保護者代表にPTAの組織を代表する人々を多くしたり、地域代表に市教委や保健所のほか並木地区の町会長を加えていることをみても容易に理解できることです。しかも、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を指導助言者として位置づけ、同校の心と体の健康づくりは、教師、児童、保護者が主体となって歩んでいることを垣間み

文部省体育局体育官

よし だ えい いちろう  
吉 田 瑩一郎

ることが出来ます。

また、運営に当たっては、小委員会を設け、無理や無駄のない協議がなされ、問題解決が図られていくように工夫されています。本年度の議題が、「安全な道路の歩行」「さわやかあいさつ運動」「むし歯予防と食生活」などといったように具体化され、焦点化されているのもこのためでしょう。

学校保健委員会は、このように、学校生活のことよりも家庭や地域での生活にかかわる問題について話し合い、保護者や地域の人々の意識変容を促し、心と体の健康づくりの教育に生きて働くものでなければならぬと思うのです。貴重な実践の歩み、どうもありがとうございました。



# 昭和 61 年 度

## 叙勲された学校保健の功労者

### 《春》 《秋》

## ◎学 校 医

## 〈旭 五〉

小澤 舜次 (静岡県)

## 〈瑞 五〉

|             |              |
|-------------|--------------|
| 大島 昌安 (東京都) | 小野 方 (岡山県)   |
| 佐藤八四二 (山口県) | 奥脇 芳枝 (青森県)  |
| 川島 久雄 (群馬県) | 熊坂 昇平 (神奈川県) |
| 櫻井 祐就 (石川県) | 二瀧 幸次 (埼玉県)  |

## 〈宝 五〉

横井 節子 (長野県)

## ◎学校歯科医

## 〈旭 五〉

|             |              |
|-------------|--------------|
| 石川 新七 (静岡県) | 小澤 忠治 (和歌山県) |
| 小谷 敏春 (香川県) |              |

## 〈瑞 五〉

|             |             |
|-------------|-------------|
| 飯久保正克 (福島県) | 関口 正雄 (埼玉県) |
| 高橋 一男 (愛知県) | 寺野 保夫 (大阪府) |
| 服部 孟 (岡山県)  | 廣瀬 政一 (茨城県) |
| 米多比勝三 (福岡県) |             |

## ◎学 校 医

## 〈旭 五〉

|             |              |
|-------------|--------------|
| 石島 弘 (茨城県)  | 鯉坂 正宜 (鹿児島県) |
| 南部 正典 (埼玉県) | 齋藤 道雄 (三重県)  |
| 守屋 弘 (山梨県)  |              |

## 〈瑞 五〉

|              |             |
|--------------|-------------|
| 小松三治郎 (秋田県)  | 佐々木敦夫 (千葉県) |
| 佐藤 信愛 (愛知県)  | 鈴来 久生 (福岡県) |
| 中村 卓二 (神奈川県) | 日高 征男 (宮崎県) |
| 細井 志成 (長野県)  |             |

## 〈旭 六〉

緒方 孝彦 (大阪府)

## ◎学校歯科医

## 〈旭 五〉

領家 克己 (島根県)

## 〈瑞 五〉

|              |             |
|--------------|-------------|
| 松本 守壽 (長野県)  | 奥家 廣一 (東京都) |
| 末兼 悦二 (和歌山県) | 林 弘 (富山県)   |
| 細谷 學 (群馬県)   | 堀之内哲夫 (宮崎県) |
| 吉井 二郎 (埼玉県)  | 山田 茂 (長野県)  |
| 山田 潤 (神奈川県)  |             |

## 〈宝 五〉

河合 政子 (岐阜県)

## ◎学校薬剤師

## 〈藍 綬〉

松尾 学 (東京都)

## 第35回 全国学校保健研究大会

## 文部大臣表彰の個人・学校・団体

## ❖ 学 校 保 健

## ◎学 校 医 (44名)

|              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 納谷 文男 (北海道)  | 三條 諷 (岩手県)   | 宮杜 亨 (岩手県)   | 大山 泰 (宮城県)   |
| 神馬 恒成 (秋田県)  | 京野 賢 (山形県)   | 小林慎太郎 (茨城県)  | 櫻井 杲 (栃木県)   |
| 森永 秀也 (群馬県)  | 齋藤 美明 (埼玉県)  | 伊藤 貞男 (千葉県)  | 渡邊 熙 (東京都)   |
| 本吉 鼎三 (神奈川県) | 工村 泰子 (神奈川県) | 後藤 久子 (神奈川県) | 清川 謹三 (神奈川県) |
| 曾田 徳 (新潟県)   | 住田 宏 (富山県)   | 佐々木一郎 (福井県)  | 清水トモヨ (山梨県)  |
| 白木 光雄 (岐阜県)  | 友成 久徳 (静岡県)  | 伊藤 恭平 (愛知県)  | 岡本 章 (愛知県)   |
| 堤 正男 (滋賀県)   | 武市 直門 (大阪府)  | 藤田 正躬 (大阪府)  | 片山 里一 (兵庫県)  |
| 田中 寛 (兵庫県)   | 田中 隆一 (奈良県)  | 井口 左京 (和歌山県) | 桐谷 信雄 (鳥取県)  |
| 井廻熊次郎 (島根県)  | 万袋 寸三 (岡山県)  | 岡田 泰二 (広島県)  | 青木 豊子 (広島県)  |



|             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 佐々木由之 (香川県) | 柳澤 義幸 (福岡県) | 川寄 朝生 (福岡県) | 宮山 倫次 (熊本県) |
| 内田 正 (大分県)  | 横山 茂樹 (宮崎県) | 松山 閑 (鹿児島県) | 宮里 義弘 (沖縄県) |

## ◎学校歯科医 (29名)

|             |             |             |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 桜田 洋一 (北海道) | 福成 覺 (岩手県)  | 渡邊 民衛 (宮城県) | 小澤 雄象 (秋田県)  |
| 水口 榮 (福島県)  | 石井 研二 (茨城県) | 蝦原 悦郎 (栃木県) | 神戸 義二 (群馬県)  |
| 角田 正之 (埼玉県) | 相原誠一郎 (千葉県) | 山田 保夫 (東京都) | 高松 達郎 (神奈川県) |
| 小松 操 (山梨県)  | 池田美喜男 (長野県) | 吉田 栄也 (三重県) | 高田 恬 (滋賀県)   |
| 藤井 勉 (大阪府)  | 谷口 昌久 (鳥取県) | 飛田 領一 (岡山県) | 岡村 敏行 (広島県)  |
| 永富 稔 (山口県)  | 豊嶋 武夫 (香川県) | 宮川 正 (高知県)  | 日高 盛隆 (福岡県)  |
| 横山韓一郎 (佐賀県) | 田中 正芳 (長崎県) | 豊島 孝喜 (大分県) | 岩田富久重 (宮崎県)  |
| 平嶺 東 (鹿児島県) |             |             |              |

## ◎学校薬剤師 (14名)

|             |              |             |             |
|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 山上 喜朗 (北海道) | 松館 吉郎 (青森県)  | 藤江 秀夫 (栃木県) | 矢嶋 一夫 (千葉県) |
| 松田 正治 (東京都) | 飯塚 孝雄 (神奈川県) | 中島 信雄 (富山県) | 塚本 孝 (愛知県)  |
| 兼平 幸信 (大阪府) | 中本永三郎 (兵庫県)  | 吉田 穰 (和歌山県) | 宗田 吉博 (広島県) |
| 瀬越 寿 (福岡県)  | 吉弘 達夫 (熊本県)  |             |             |

## ◎校 長 (6名)

|            |             |            |             |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 瀬戸 勉 (北海道) | 大木 一弘 (栃木県) | 竹内 昭 (京都府) | 百濟 昌一 (兵庫県) |
| 若林 久 (島根県) | 楠本 哲夫 (長崎県) |            |             |

## ◎教 頭 (3名)

|            |             |             |
|------------|-------------|-------------|
| 岩上 保 (京都府) | 高木 政夫 (奈良県) | 田原 敏雄 (高知県) |
|------------|-------------|-------------|

## ◎保健主事 (2名)

|             |             |
|-------------|-------------|
| 石井庄二郎 (群馬県) | 石野 幸男 (京都府) |
|-------------|-------------|

## ◎養護教諭 (10名)

|             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 斎藤 ツヤ (栃木県) | 石濱 静江 (栃木県) | 千葉喜美子 (千葉県) | 松本マツエ (東京都) |
| 小林 政子 (新潟県) | 田部はつ江 (滋賀県) | 竹島 直枝 (広島県) | 秋定ハマコ (山口県) |
| 高柳 清子 (徳島県) | 佐藤 房子 (大分県) |             |             |

## ◎団体役員 (2名)

|            |             |
|------------|-------------|
| 岸 陽一 (山形県) | 天井 栄博 (石川県) |
|------------|-------------|

## ◎学校・団体 (12校・1団体)

|               |               |                |
|---------------|---------------|----------------|
| 青森県木造町立出来島小学校 | 福島県福島市立月輪小学校  | 群馬県高崎市立第一中学校   |
| 石川県志賀町立土田小学校  | 福井県福井市杜北小学校   | 長野県伊那市伊那西小学校   |
| 静岡県浜松市立五島小学校  | 三重県四日市立笹川西小学校 | 徳島県徳島市内町小学校    |
| 愛媛県保内町立宮内小学校  | 愛媛県朝倉村立下朝小学校  | 鹿児島県鹿児島市立改新小学校 |
| 東京都文京区学校保健会   |               |                |

## ❖学校安全

## ◎団体 (22校・1団体)

|                |                 |              |
|----------------|-----------------|--------------|
| 山形県鶴岡市立朝陽第一小学校 | 福島県いわき市立勿来第二中学校 | 栃木県足利市立小俣小学校 |
| 千葉県沼南町立手賀西小学校  | 新潟県堀之内町立宇賀地小学校  | 富山県魚津市立本江小学校 |
| 福井県武生市吉野小学校    | 長野県東部町立和小学校     | 岐阜県立可児高等学校   |
| 静岡県静岡市立中薬科小学校  | 愛知県南知多町立内海小学校   | 三重県鈴鹿市立神戸中学校 |
| 京都府京都市立朱雀第八小学校 | 奈良県天理市朝和幼稚園     | 島根県松江市立朝酌小学校 |
| 岡山県高梁市落合小学校    | 山口県岩国市立通津中学校    | 香川県三木町立三木中学校 |
| 愛媛県八幡浜市立双岩中学校  | 福岡県立花町立上辺春小学校   | 佐賀県多久市立納所小学校 |
| 熊本県立松島商業高等学校   | 茨城県石岡市教育研究会     |              |

## ◎校長 (2名)

|             |             |
|-------------|-------------|
| 鈴木 文雄 (埼玉県) | 花城 清英 (沖縄県) |
|-------------|-------------|



## 第36回 全国学校保健研究大会

特別講演

## 日本語の美しさ

お茶の水女子大学教授

外 山 滋 比 古



## 善処しますという言葉

元首相の佐藤栄作さんが、アメリカへ沖縄の返還交渉でニクソン大統領と会談に行った。そのときアメリカは沖縄は返すが、何か見返りを要求するだろう。その見返りは、繊維製品の対米輸出の自主規制をせまってくるだろうと、日本の世論は考えていた。ニクソンは佐藤さんと庭を散歩しながら、「繊維製品の輸出の件はよろしくたのむ」と言われ、佐藤さんは「その件は善処します」と笑って答えた。通訳官は大統領付の優秀な人であったそうですが「私の出来る限り全力をつくします」と訳してしまった。大統領は大変喜こんだが、佐藤さんはそれに気がつかなかった。

その後、滞米中は、繊維の問題は公式の議題にはならず、交渉は大成功だったと喜んで日本に帰って来た。空港での記者団の質問で「アメリカは日本が繊維の自主規制の問題はすんなりのんだ」と伝わっているが、協同声明の中に盛られていないのはどうしてか、と聞かれ、佐藤さんはびっくりして、「そんなことは全々話にのらなかった」と自信を持って答えた。

このニュースはすぐワシントンへ送られ、アメリカは非常に驚き、彼は「イエス」と答えたのに、日本に帰るうちに忘れてしまって、日本へ帰ったら「ノー」と言っている。日本の政治家は一体何だと大変驚いた。これはつまり日本語の「善処します」という言葉を誤解して「イエス」と通訳をしたのだということが、だんだんわかって来て、10年後には「善処します」ということが「ノー」だとやっとわかって来た。

一昨年、アメリカのタイムに「日本大特集」というのがあったが、その日本語の頁の中に「善処します」という言葉があるが、これは文字では「努力する」というように見えるが、本当は「努力はしないのだ」「やめましょう」と使はれていると書かれている。

現に国会の委員会で野党の質問に、政府側はよく「善処します」と答弁をしているのが見られるが、これは頭から「それはだめです」と言ったのでは、実もふたもないので、善処します。つまり「やりません」ということをやわらかくいっているのである。

これが日本語の良さというべきであろう。タイムの日本語の頁に、日本語は悪魔の言葉だ、というタイトルをつけている。これは400年前にヨーロッパからカトリックの宣教師が来て、日本語がぜんぜんわからないので、自分は神様からのお使いだから自分にわからない言葉は悪魔の言葉であると、ローマ法王庁に報告したからである。それでヨーロッパでは日本語はえたいの知れない変な言葉であると伝わった。

## 日本語を大切に

われわれ日本人が生れてから使っている母国語を外国人のしり馬に乗って、日本語は変な言葉だなあ、外国語のように論理的でないなあ、という人がいる。また、なかには日本語をやめてしまって英語にしたらどうか。また、日本が戦争に負けたのは、日本語のせいで、フランス語を国語にしたらという人が40年前にはいたが大変困った事だ。

わたしたちは日本語が外国の言葉よりも大変優れているということを無理にいう必要はないが、日本語には日本語の美しさ、日本語でなければいけない面白さがあるのだということを、日本人であるわれわれが考えていかなければいけないと思う。

いま、日本は世界に冠たる輸出国であり、テレビ自動車、ビデオ等優秀なものを作るけれども、それだけでなく文化もすばらしく、そういう文化のある国で出来た製品ならば信頼してよいということになることが望ましい。

それには今のように日本語に無知であってはならない。もっとよく日本語を理解して日本語に対する愛着をもつ必要があると思う。



## 第36回 全国学校保健研究大会 全体シンポジウム

座長 宇都宮大学教育学部教授 吉 沢 茂 弘  
宇都宮大学附属中学校校長

**主題** 生涯にわたって自ら健康づくりを実践することができる児童・生徒の育成をめざして

### 主題設定の趣旨

子ども自らが、健康の喜びを知り、生涯にわたってたくましく生きぬく力を身につけるために、学校・家庭・地域はそれぞれどのような役割を果たし、どのように連携していかなければならないかについて研究協議するとともに、課題別協議の方向を明らかにする。

### 研究協議の内容

- 1 健康安全に生きぬく力を育てる学校教育のあり方について。
- 2 たくましいからだと豊かな心を育てる家庭教育のあり方について
- 3 健康づくりを推進する学校・家庭・地域の役割と連携のあり方について

### 健康・安全に生きぬく力を育てる学校教育 のあり方を求めて

栃木県宇都宮市立鬼怒中学校

校長 渡 辺 栄 一

21世紀の社会像を予想し、そのような社会で期待される人間像を描き、このことの自覚と反省に立ってこれからの教育、とくに人間の心の健康の大切さを認識し児童・生徒の心身両面が均衡のとれた発達をさせるよう、最大限の努力を払うことが急務である。

このことは、「たくましく、生きぬく力」を育てる事に帰着するが、例えば健康を保持し、増強するためには、自己防御的な管理だけではなく「汗を流し、鍛える」という積極的な活動も必要である。

学校における保健安全教育については、検討がいる。各学校の教育目標には心身の健康に関する項目があげられているが、具体的事項や具体策の欠如が見られる。たとえば「心身ともに健康で気力あふれる生徒」を教育目標にかかげた場合、この具体目標をいくつかあげると共に、実践目標を設け、実践の場までも計画し、保健安全計画に結びつける方向づけが望まれる。

全校の健康安全の方向を明確にし、意図的、計画的にその推進に努力すべきである。

### 自ら健康づくりに意欲的に取り組む子供を 育てる家庭教育はどうあるべきか

千葉大学教授 坂 本 昇 一

「基本的生活習慣の育成」は、理解（よくわからせる）、

機能（やり方を身につけさせる）意欲（やる気をおこさせる）、関心等を考えねばならない。よくわからせても行動にはつながらないし、おどしや権力で行動は変らない。

この頃は指示まち子ども症候群が見られる。ロボットではなく、健康についても自己管理、自己指導のできる子に育てたい。

ものごとを正しく判断することによって意欲が出る。自己決定の場がないと意欲は出ない。歯を磨いたり、挨拶をするのは必要と理解しているがやる気がないと行動につながらない。家庭教育はこちらから手を出すことはできないが啓蒙はできる。教えてやろう、指導してやろうと君りんするようでは意欲は出ない。親と教師が共に考え学ぶ姿勢がいる。

### 自ら健康づくりが出来る子どもを育てる家 庭、地域の役割はどうあるべきか

鹿児島県伊集院町立飯牟礼小学校

学校医 山 口 勇 郎

学校と家庭をとりまく地域社会が、子どもの健康、家庭の健康という共通の場をふまえて協力し、すすめていくことが大切である。地域社会の保健活動は学校医、地域医師会がその中心となって推進すべきであろう。

また、学校保健委員会や学校親子保健協議会（毎月学校参観日に行う）を開催し、親と子と教師、そして学校医等が話し合いを深める。これらのことは、学校・家庭・地域をつなぐかけ橋となる。個と集団の接点を大切に

して全力投球することが現在求められている。



# 昭和61年度 全国学校保健協議大会

今年度の全国学校保健協議大会は、10月24日(金)、第36回全国学校保健研究大会の全体会終了後、午後4時15分から、総合コミュニティセンター大会議室(宇都宮市)において開催された。

最初に会長代行の山中正一副会長と、文部省体育局学校保健課の藤井陽光課長補佐からあいさつがあり、続いて次の各氏を議長団に選出した。

|                |         |
|----------------|---------|
| 日本学校保健会 常務理事   | 榊 田 桂   |
| 長崎県学校保健会 会 長   | 城 谷 勝 明 |
| 栃木県連合学校保健会会長   | 梅 園 昌 男 |
| 大阪府学校保健会 副 会 長 | 白 木 弥一郎 |

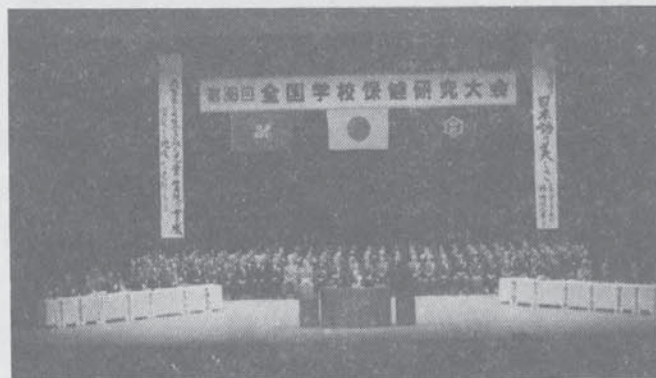
「昭和60年度協議大会における協議事項」の処理は、文部省、各加盟団体教育委員会に対する要望、各加盟学校保健会での研究課題、に研究実践などについて、長崎県学校保健会城谷勝明会長から報告があった。

今年度の協議会は、昨年迄の方法を改め、協議事項をしぼって集中的に討議することによって、内容を深めていくように協議を進めた。

そこで、もっとも多くのブロックから提出された「幼児児童生徒等の健康診断の充実強化の対策はどうあるべきか」について。参会者全員で協議した。

まず、この問題を提案したブロックそれぞれの代表から、提案理由の説明があった。さらに、一般参会者からの意見発表が行なわれ、内容を深めることができた。

この問題の処理とあわせ、各ブロックから提出された協議事項をふまえて、要望事項、研究課題等は議長団に一任された。



なお、各ブロックからの提出事項は総数は34件で、下記の通りである。

1. 幼児児童生徒等の健康診断の充実強化の対策  
(心臓・腎臓の検診、川崎病対策、診断項目、肥満評価、健康診断票、統計調査、事後措置等を含む) (7ブロック)
2. 健康相談の充実強化策 (1ブロック)
3. 「こころの健康」の管理指導対策  
(専門職・関係機関との連絡)(3ブロック)
4. 肥満児対策 (2ブロック)
5. 教職員の保健管理の充実強化策  
(診断項目、特殊学校勤務教職員の保健管理) (2ブロック)
6. 養護教諭の充足と資質の向上  
(全校配置、大規模校への複数配置、育成及び現職教育) (5ブロック)
7. 教職員(校長・保健主事)の学校保健に関する資質向上対策の強化 (1ブロック)
8. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の充足と待遇の改善 (2ブロック)
9. 保健教育の充実 (2ブロック)
10. 学校保健活動の充実強化 (3ブロック)



## 第33回 全国学校薬剤師講習会

第33回全国学校薬剤師講習会は、6月19、20日、石川県金沢市において全国より学校薬剤師、学校保健関係者及び教育委員会関係職員の参加のもと石川県文教会館で盛大に開催された。

第1日目の内容は、学校薬剤師の職務、多様化する学校環境衛生活動、エイズウイルスを中心とした最近の話題、機器分析の新しい方法について次の演題で講義がなされた。

「学校保健の現状と課題」

文部省体育局学校保健課長 下宮 進 先生  
「血液の役割と血液を介しておこる病気」

金沢大学名誉教授 服部 絢一先生  
「イオンの新しい測定法」

金沢大学薬学部教授 宮崎 元一先生  
第2日目は、学校現場の環境衛生活動の実際、保

健室等で使用する薬品の使用期限等具体的な品質管理の問題点、美的環境の考え方、環境衛生活動の効果的な方策等について次の各先生より講義がなされた。

「学校現場における環境衛生活動の課題」

七尾市立有磯小学校教頭 池岡 悟 先生  
「学校で使用する薬品の管理」

金沢大学薬学部教授 辻 彰 先生  
「もう一つの環境・美の周縁を考える」

金沢美術工芸大学教授 山岸 政雄先生  
「学校環境衛生の考え方と進め方」

文部省体育局学校保健課 石川 哲也先生  
加賀百万石の伝統文化の一端である、加賀宝生流(能)の舞が披露される等暖かな配慮がなされ、二日間にわたる有意義な講習会を閉じた。

## 日本学校保健会だより

### 昭和61年度 全国学校保健研究大会・地域ブロック学校保健大会

| 大会名〔期 日〕                                 | 場 所   | 主 題                                                                                  | 代表出席者・講師           |
|------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 第36回 全国学校保健研究大会<br>〔10月24日(金)～25日(土)〕    | 栃 木 県 | たくましく生きぬく児童・生徒の育成<br>—家庭及び地域との連携を通して—                                                | 山中副会長ほか            |
| 第37回 十一大都市学校保健協議会<br>〔5月25日(日)～26日(月)〕   | 東 京 都 | たくましい体とすこやかな心を持つ児童・生徒の育成<br>—大都市に生きる子供の健康づくりのあり方を求めて—                                | 東 会 長              |
| 第8回 近畿学校保健連絡協議会<br>〔7月17日(木)〕            | 滋 賀 県 | 近畿の学校保健関係者が一堂に会し、当面する諸問題について連絡調整と研究協議を行い、学校保健の推進を図るとともに、近畿学校保健連絡協議会及び日本学校保健会の発展に寄与する | 尾 花 副会長            |
| 第21回 東北学校保健大会<br>〔7月28日(月)～30日(水)〕       | 山 形 県 | 自ら健康づくりに取り組む児童生徒の育成                                                                  | 山 中 副会長<br>田能村 祐麒  |
| 第37回 関東甲信越静学校保健大会<br>〔8月22日(金)～23日(土)〕   | 新 潟 県 | 心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指して<br>～学校・家庭・地域の連携～                                               | 村 瀬 副会長            |
| 第36回 九州地区学校保健研究協議大会<br>〔8月24日(日)～26日(火)〕 | 鹿児島県  | 生涯にわたって健康で安全な生活を積極的に実践する児童生徒の育成                                                      | 山 中 副会長<br>江 口 篤 寿 |
| 第35回 北海道学校保健研究大会<br>〔9月20日(土)～21日(日)〕    | 帯 広 市 | 北国の風土に根ざし、心身ともに健康で安全な生活を営み<br>自らをきたえる子どもの育成を目指して                                     |                    |
| 第32回 中国地区学校保健研究協議大会<br>〔11月6日(木)～8日(土)〕  | 福 井 県 | 自ら育てるたくましい体と豊かな心<br>～学校・家庭・地域が一体となって～                                                | 尾 花 副会長<br>楠 智 一   |
| 第34回 北陸三県学校保健研究協議会<br>〔11月7日(金)～8日(土)〕   | 石 川 県 | 自らの健康づくりを実践する児童生徒の育成                                                                 | 尾 花 副会長<br>宮 本 吉 郎 |
| 第7回 東海ブロック学校保健大会<br>〔11月12日(水)〕          | 愛 知 県 | 学校保健を学校教育の中に正しく位置づけ、健康でたくましい児童生徒の育成をめざし、当面する学校保健・安全の諸問題について研究し、その充実と発展に資する           |                    |
| 昭和61年度 全国学校保健協議大会<br>〔10月24日(金)〕         | 栃 木 県 | (協議題)「幼児児童生徒等の健康診断の充実強化の対策は、いかにあるべきか」                                                | 山中副会長ほか            |

|                   |                 |     |                                         |
|-------------------|-----------------|-----|-----------------------------------------|
| 第33回 全国学校薬剤師講習会   | 6月19日(木)・20日(金) | 石川県 | 【その他の会】                                 |
| 第50回 全国学校歯科保健研究大会 | 9月19日(金)・20日(土) | 岩手県 | 全国養護教諭研究大会 8月28日(木)・29日(金) 鳥根県          |
| 第29回 全国学校保健主事研修会  | 8月27日(木)・28日(木) | 福井県 | 養護教諭実技講習会 7月～9月 北海道、茨城県、福井県、滋賀県、愛媛県、宮崎県 |
| 第9回 全国学校医研修会      | 62年2月21日(土)(予定) | 東京都 | ヘルスカウンセリング指導者養成講座 昭和62年1月19日(月)～24日(土)  |



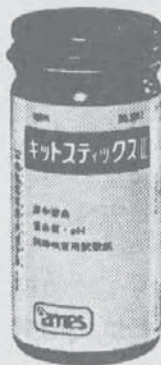
# 育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

## カワイ肝油ドロップ



製造発売元 **河合製薬株式会社** 東京都中野区新井2-51-8



どちらかひとつをお選びください。

エームスの尿潜血・蛋白質同時検査試験紙。

尿中潜血・蛋白質・pH同時検査用試験紙

**キッドステックス III**

尿中潜血・蛋白質・ブドウ糖・pH同時検査用試験紙

**ヘマコンビステックス III**

**マイルス・三共株式会社**

東京都中央区銀座1丁目9番7号 〒104 ☎(03)567-5511

販売元:

**三共株式会社**

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)542-3511

万一の事故に備えて

## 手軽に使える救急酸素

循環器系・呼吸器系等の発作が起き、呼吸困難になったら、すぐに酸素吸入…。救急車や医師が到着するまでの応急用として最適。

**M ミドリ安全株式会社**  
本社 東京都渋谷区広尾5-4-3 〒150  
三井安全 電話 (03)442-8271(代)

応急用酸素吸入器

## O<sub>2</sub>パックA型

- 使用時間12分(1回限り使い捨て)
  - 酸素流出量/3.0ℓ/min
  - 酸素総流出量/36ℓ以上
  - 重量/800g ●寸法/径90×高さ250mm
- 医療用具承認番号(59B)  
第389号(医家及び家庭向)

標準小売価格 **8,800円**



子供の歯を考えた  
**ライオンの2段階植毛ハブラシ**

●低学年用

●高学年用

●推薦 日本学校保健会

ライオンの  
ハブラシ製品  
ライオン株式会社

“ふだんの予防で、元気な毎日”まず手洗い!!

## 殺菌 消毒用 シャボネット石鹸液 2.0L

日本学校保健会推せん No.659

精製ヤシ油を原料にした殺菌、消毒用石鹸液で、手洗いのあといや～な臭い  
が残りませんので喜んでお使いいただけます。シャボネット容器に入れ、水で  
7～10倍にうすめてお使いください。

サラヤ株式会社 TEL(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 TEL(03)458-1515